



2009 ~ 2010 年度
R I テーマ

The Future of Rotary Is in Your Hands
ロータリーの未来はあなたの手の中に

国際ロータリー会長 ジョン・ケニー (国籍・スコットランド)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12 時 30 分
ところ トキハ別府店 7 F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町 1 番 1 号 青山通りビル 3F
〒 874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事 近藤 賢司	理事 大野 雅治	役員 会長 近藤 賢司	S A A 大野 雅治
〳 木村 きぬゑ	〳 鳴海 淳郎	副会長 木村 きぬゑ	直前会長 平野 英壽
〳 亀井 孝	〳 後藤 隆	幹事 高宮 勝美	
〳 村津 忠久		会計 河村 貴雄	

VOL. 22 -27
2010 年 2 月 9 日

第 990 回 例会

会報委員長 森 宗明

- ◆点 鐘 12 : 30
- ◆体 操 自律神経強化体操
- ◆R S 別府中央 R.C. の歌
- ◆唱 歌 かあさんの歌
- ◆B. G. M 天満敦子「望郷のバラード」より
ヘンデルのラルゴ
ブラームスのハンガリア舞曲
サラサーテのアンダルシアのロマンス
他
- ◆ビジター 梅本靖之 (中津 R C)

◆出席報告 委員長 梅津ヤヨイ

本日 の 出 席	会 員 総 数	19 名
	出 席 者	14 名
	事前メイクアップ	1 名
	理 事 会 承 認	0 名
	出 席 免 除	1 名
前 々 回 の 訂 正	欠 席 数	3 名
	出 席 率	77.78 %
	出 席 率	78.95 %
	事後メイクアップ	2 名
	理 事 会 承 認	0 名
1/26	出 席 免 除	0 名
	修 正 出 席 率	89.47 %

連 続 - 回
通 算 737 回 100 %

・メイクアップ

事前 大野 (大分 1985)
事後 河村、大野 (大分城西)
欠席 梶田、中尾、津末
出席免除 溝部

2. 2010-2011年度国際ロータリーのテーマ



3. 第 8 回定例理事・役員会報告

(平成22年 2 月 2 日 (火) 13 : 40 ~

トキハ別府店例会場 8 名)

会長の時間

会長 近藤 賢司

今日は皆様にお知らせがあります。来月より別府商工会議所がこの会場を含む 7 階部分を全てトキハから借りあげる為、この会場で例会が出来なくなるかも知れないと皆様にご心配をおかけしましたが、先日、別府商工会議所、トキハ別府店、及び私達の食事を作っていただいているトリコロールと折衝した結果、ほぼ今まで通りの条件で使用することが決定いたしましたのでご報告致します。これからもよりよい例会ができるように努力していきますので、ご協力の程お願い致します。

幹事報告

幹事 高宮 勝美

—世界理解月間—

1. 本日の卓話

「便利になった」 森 宗明会員



報告事項

- 1) 「別府市内4RC会長・幹事会報告」
 平成22年1月18日(月)19:00～於:本家お川
 ○合同事務局運営費後期クラブ負担額の件。
 会員一人当たり45,000円(1月1日現在19名)

審議事項

- 1) 「第3回クラブ協議会」の件。※承認
 例月23日(火)12:30～例会
 場 所 トキハ別府店例会場
- 2) 2月・3月例会予定の確認
 2月2日 「アラカルト」 梶田健治会員
 9日 「便利になった」 森 宗明会員
 16日→17日(水)別府市内4RC合同例会
 於: ホテル白菊
 23日 「第3回クラブ協議会」
 3月2日 「会員卓話」 中尾 誠会員
 9日 「会員卓話」 平野英壽会員
 16日 「会員卓話」 大島由美子会員
 23日 「創立21周年記念例会」 鳴海淳郎会員
 30日 「定款休会」

4. 『佐伯MARINEロータリークラブ創立20周年記念式典』のご案内

日 時 平成22年4月10日(土曜日)
 14:00～14:50 登録受付
 15:00～16:30 記念講演
 「笑いの医力」講師: 高柳和枝氏
 (笑医塾塾長・医学博士)
 16:40～17:20 記念式典
 17:30～17:50 歓迎演奏
 18:00～19:30 記念祝宴

場 所 《記念講演》ホテルニュー佐伯
 4F「紫雲の間」
 《記念式典》ホテルニュー佐伯
 2F「海彩の間」

登録料 会員10,000円 同伴者8,000円
 ※詳細・登録ご希望の方は、幹事または事務局までお申し出ください。

5. お祝い
 会員誕生日 村津忠久会員(2月10日)
 ※記念品をお渡し致します。

6. 例会変更のお知らせ
- | | | |
|--------|----------|--|
| 別府中央RC | 2月16日(火) | } の例会は、別府
市内4RC合同
例会の為 2月
17日(水)17:30
～ホテル白菊に日時・場所変更 |
| 別府北RC | 2月17日(水) | |
| 別府東RC | 2月18日(木) | |
| 別府RC | 2月19日(金) | |

- 宇佐RC 2月25日(木)の例会は、夜間例会の為 同日18:30～翔山に時間・場所変更
 大分東RC 2月25日(木)の例会は、夜の例会の為 同日18:30～丸福に時間・場所変更

7. 次週例会の予定
 「別府市内4RC合同例会」
 ※日時・場所を変更し、2月17日(水)17:30～ホテル白菊に於いて開催いたします。お間違えのないようお願い致します。
 「会員コラム」高宮勝美会員
8. 本日の回覧
 ①「2010-2011年度版ロータリー手帳」希望購入
9. 本日の配布
 ①ロータリー探究
 「一人ひとりが実践しよう:会員の推薦と維持」
 鳴海淳郎R情報委員長
- ②週報No.989



委嘱状を手に
河村会員

スマイルボックス 副委員長 後藤 隆

○近藤会長
 先程、会長の時間でもお話しましたように、ほとんど今迄通りの条件でこの会場でロータリーの例会が続けられるようになったことにスマイル。

○村津会員
 5月29日・土曜日、広島県福山市の「ふくやま芸術文化ホール・リーデンローズ」で開催される「第16回全日本ロータリークラブ親睦合唱祭」に出演するための合唱練習が、昨夜から始まりました。
 ロータリーコールの練習は毎週月曜日の夜・7時半から9時までです。練習場所は野口町の



甲斐医院御自宅の3階です。

この機会に、ロータリーコールにチャレンジして下さると感謝感激です。御願いと御誘いに代えてスマイル。

○森会員

娘がつわりでたびたび家内をとられます。居てもどうということはないのですが、あまりにかまってもらえないのもつまらんなあ…でスマイル。

○亀井会員

昨日、家の片付けを少ししていた所、千円札を一枚拾いました。それから他所の場所を片付け、又、戻って片付けをしていたら同じ場所に又、千円札があり、又拾いました。きっと家内がいたずらをしていたのでしょう!! お裾分けでスマイル。

○河村会員

週報が7つも溜まってしまいました。今年度の目標!出席率50%を目指すぞ!

○平野会員

今週末はバレンタインデーいっぱいチョコレートが来ますように。

森ちゃん、卓話楽しみにしていますよ。

○後藤会員

3月4日(木)に第2回の家庭集会を企画しています。奮ってご出席ください。

○木村会員

今日は暖かい。気温の変化がこんなにも寒かったり暑かったり、体がおかしくなりそう。

森さんの卓話、楽しみです。

ハの6階、6階のどこあここココ。

■パソコン、これも確かに便利ですし、いまやこれなしには仕事は出来ない。ただし、漢字が賭けなくなる。どんな難しい漢字もすぐ出てきますから、どんどん漢字が書けなくなる。

■電子メール、私が恋をした頃は、電話か手紙しか無かった、当然自分の声でしゃべり、自分の書いた文字で思いを伝えるわけで、ごまかしようが無かったですね、「文通」なんて懐かしい言葉は今では死語でしょう。声から、文字から体温が伝わった。電子メールは確かに便利ですが、相手の状況、本当に本人かどうか解らんわけです。会社に至っては隣同士で電子メールを使って会話しとる、それで良いのかどうなのか。国語をしっかり勉強してないものだから文章がおかしい。

■給湯器・風呂、私が子どもの頃は風呂を沸かすのは子どもの仕事でした、姉と一緒に風呂桶に水をはり、火吹き竹を使い火をおこし風呂を沸かすそして、父が野良仕事から帰ってきて風呂にはいると、沸かし口から、お父さん湯加減はどう? ちょうどいいぞとかぬるいぞとか、なんだか良かったなあと思いませんか、今ではあらかじめセットさえておけば、「お風呂が沸きました」と、決まった温度で湯量もばっちり、それこそ何もしなくて良い。当然風呂のたきぐちは外でしたから、子どもは寒い中で風呂をたきながら、父ちゃん仕事寒かったやろうな等と思うことも無いわけです。

■便器、便利と言うか便器の前に立つと蓋が勝手に開く、小便をしようと思えば勝手に上ふたが開いたので、待っていてももう一枚の便座はあがない、なぜか、さすがに小か大かなんぞわかるわけが無いのと、最近では男子の半分は座って小便をするのだそうです。においもしない、小川の音がする。音が選べる?

■雑巾、知っていますか、アスクルでは雑巾も売っている。私には普通のタオルにしか見えない雑巾。実は私車の中でタオル代わりに使っています。

■私たち世代はまだあまりいろんなものが便利ではなかった頃を知っていますから、比較ができませんが、今からの子どもたちは比較さえ出来ないわけです、どんな大人になるのか、少し心配です。

便利になることはとても良い事ですが、どこかで生きて行く上で大切な何かを持っていかれるような気がします。これからもどんどんいろんな事が便利に(手間要らず)になって行くのでしょうか、果たしてそのことが本当に良いことなのか。

私たちは「不便」からいろんな事を学んで来ました。

便利になるのは確かに良いことです、洗濯機、掃除機を初めとする家電の類は確かに暮らしを豊かにした、でも、便利になるほどに知恵だとか賢さが無くなって行くように感じています。確かに便利にはなったけれども、果たして私たちの暮らしは本当の意味で豊かになってきているのだろうか。どこかでいつか不便なほうが良いなあと思うときがくるかも知れません。

卓話 森 宗明

「便利になった」

■携帯電話 なによりこれがすごい。これは高宮さんの専門ですが、いまや電話は生活の中心になりつつある。と言うか、なっている。皆さん今携帯電話が無くなってしまったらどうします。若い連中は「生きて行けない」のだそうです。指紋を認識しないと携帯電話が仕えないとか家のセキュリティ、家の中がいつでも何処からでも携帯画面で見られる、ドアが開いたり、ガラスが割れたりすると知らせてくれる。電話で「こらお前」と怒鳴ることが出来る、風呂を沸かす指示も出来る、自分の居場所、子どもの居場所がわかる、キャッシュカード機能、電車、飛行機の切符、カメラ、ラジオ、ミュージックプレイヤー、電卓、待ち合わせの時うろうろ探さなくて良い、今何処、トキ



最後に

■紙おむつ、これもお母さんには福音のようです。果たしてそうか、私が子どものころはおしめ、襦袢とかシャツの古くなったものや、上等のおしめは手ぬぐいとか反物のさらし。当然洗って何度も使う。お母さんはウンチの色やにおいで子どもの健康状態を見ていた。ちょうど今月頂いた「抜粋のつづり」の中に「おしめ」の話がありましたので転載いたします

「おふくろのおしめ」

中條高德【豊かさに感謝する心を】

かつて『おしん』というドラマがわが国で大人気となった。そしてアジアの諸国でもてはやされた。

ほぼ5世紀間にわたった西欧列強による植民地化の荒波を辛うじて免れ、近代化に成功し、その決戦とも言うべき日露戦争（1904～05年）に勝って、心の自由と民族の誇りを得たものの、庶民の生活は極めて貧しかった。

豊饒の海に酔い痴れるいまの若者たちには想像のつかないほどの貧乏であった。

文字の読めない人すらいたが、皆、凜として生きていた。いまさら貧乏を勧める気など毛頭ない。豊かさは全人類の目指す課題だから、そのこと自体悪かろうはずがない。だが、識者の多くが、豊かさにたどりつくと、目指すエネルギーが弱くなり（夢見なくなる）、耐える力が萎えると説く。

人は常に感謝の想念に裏打ちされて生き続けなければ、人生を誤ることが多い。

豊かさを肌で感じ、感謝する心を養うには、先人たちの生き抜いた実相を伝えることこそ最高の説得であろうと思う。

己を捨て、相手を立てる

筆者の尊敬する平辰さん（日本の台所を任ずる（株）大庄の社長）の母親の実話を紹介しよう。

平成17年、平さんのお母さんが天寿を全うされてこの世を去られた。この時のご挨拶のエッセンスをありのままにお伝える。

「私たち兄弟は佐渡に生まれ、島で育ち、18歳の頃上京しました。亡くなった母は現代版『おしん』かもしれません。

祖父に子供がなかったので、末弟（私の父）が世継ぎとされ、父は海軍の軍人でしたので、船に

乗っており、婿殿不在の平家に嫁いだのが母の八重でした。（中略）

母は、子供たちのおしめ（おむつ）を古着の布の切れ端で縫い、汚れたおしめは、凍りつく川に運び、洗ってくれました。

冬の雪の降る日でした。母のその手は、あかぎれで割れ、腫れ上がっていました。血の出ってくる割れ口には、ご飯粒を詰めることで耐えていました。

そんな手であっても、『子供には少しでも温かいおしめを…』と赤ん坊が汚したおしめを洗ってコタツで温めておいてくれました。

食事をしながら、子供におっぱいを飲ませている時など、ビリビリと下痢のうんちをし、抱っこしている母の腿が熱くなってくると、食事を中座して、そのおしめをはずし、下痢でたれたお尻を、母は舌で舐め取っては吐き出し、吐き出しながらコタツで温めてあったおしめを取り換えるのでした。

いまのように柔らかい紙はなく、紙といえは新聞紙くらいのものでした。また、柔らかい布もなく、おしめも布を縫い合わせているので、それで拭けば赤ん坊のお尻はさらに赤く腫れ上がってしまいます。

母は、『子供が痛かろう』と自分の舌で、その下痢のうんちを舐めて拭き取り、その口で再び食事を摂ることも度々ありました。（中略）

偉大なる母に、無償の愛の尊さと大将の道をお教えいただきました」（原文そのまま）

誤解のないよう特に若い母親の読者に告げたい。

生んだ母親が子をなめて育てるなど動物界の常識であるが、文明開化のいまの世に、このような非衛生的な育て方をしなさいと勧めるのでは決していない。こうまでして育てた母親の無償の愛。己（母親）を捨て、相手（子供）を立てる真実の愛を掴み取ってほしい。

この真実の愛を理解した母親のみが、我が子が成長した日、「ならぬことはならぬ」と厳しく躰ができるという「陰陽の理」をしっかり学んでいただきたい。

（なかじょう たかのり＝アサヒビール名誉顧問・致知「巻頭の言葉」21年4月号）

会員コラム

亀井 孝

横綱 朝青龍が引退しました。賛否両論ありますが、年貢の納め時には間違いありません。日本の武道には古来より、「心、技、体」が求められてきました。「技」より、「体」より、まず「心」の鍛錬が大事だと。相撲は神事の要素を含むものですから、何をか言わんや、です。

ヒールな面でも人気があったようですが、それは土俵の上のパフォーマンスだけで良かったのではないのでしょうか。何より、朝青龍の廻りに、厳

しく諫めることのできる人物がいなかったことが残念です。彼は両親を敬うという、日本人でさえ失いかけている基本的な「心」は持っているのですから。

余談ですが、引退前は散々叩き落しておきながら、その舌の根の乾かぬ引退発表後には、偉大な功績、名横綱、と持ち上げるマスコミに「心」を求めるのは間違いでしょうか。

今回は、高宮勝美会員です。